

枚方製造所

1. 事業概要

住所	〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池 1丁目1番1号
従業員数	1,422名 (H26(2014).4.1現在)
敷地面積	326,880 m ² (99,055坪)
事業内容	素形材事業部門 : 研究開発／技術設計／製造 ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事 バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事 建設機械事業部門 : 製造／営業 マテリアルセンター : 研究開発



主要製品

 MERT	 ハイリフト型先行待機ポンプ	 バタフライバルブ	 ミニバックホー
--	---	---	---

工場変遷(沿革)

昭和37年 (1962)	ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始) 鋳鋼(素形材)部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
昭和39年 (1964)	武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転 バルブ部門を枚方機械工場へ移転
昭和47年 (1972)	枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
昭和49年 (1974)	小型油圧ショベル製造開始
昭和54年 (1979)	大型ポンプ・建設機械専用工場完成
昭和56年 (1981)	ソフトシール仕切弁の製造開始
昭和59年 (1984)	枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
昭和61年 (1986)	ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
平成7年 (1995)	新素材開発部を枚方製造所に移転
平成11年 (1999)	ISO14001認証取得
平成16年 (2004)	リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 会長賞
平成17年 (2005)	ISO14001(2004年度版)へ移行 エネルギー管理優良工場(熱部門) 近畿経済産業局長表彰
平成19年 (2007)	ISO14001とOHSAS18001 マニュアル統合(OHSAS認証取得に伴う)
平成25年 (2013)	マテリアルセンターを枚方製造所に設置

枚方製造所

2.環境方針

ISO環境方針

基本理念

「優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。」というミッションー私たちの使命ーに基づき、当製造所は環境保全と経済発展の調和をめざすと共に、「先ずは安全、何より安全！」の認識の下、災害及び疾病の未然防止に取り組みます。

基本方針

1. 環境と労働安全衛生の統合マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努めると共に、関連の法規制並びに当製造所が同意する協定等を遵守致します。
2. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関係するサービスの各段階における環境負荷の改善と環境汚染の予防に取り組みます。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマの計画的改善活動に努めます。
4. 危険有害要因の特定・評価に基づくリスク除去・低減対策を計画的に進め、すべての従業員並びに関係者の災害や疾病の未然防止に取り組みます。
5. 製造所の全域で快適な職場環境づくりをめざすと共に、全従業員の心身の健康づくりを推進します。
6. すべての従業員が環境・安全衛生に高い意識を持ち、自ら社会的責任を果たせるよう、継続的な教育訓練や啓発活動に努めます。
7. 地域社会、公的機関、お客様、従業員の家族などの利害関係者らと常に良好なコミュニケーションを維持します。

—— この方針は社内外に開示します ——

制 定 1999年 3月15日

見直し 2014年 5月 1日

株式会社クボタ 枚方製造所
製造所長 立石 安壽生

ISO14001認証取得状況

認証取得年月日:1999年9月17日

2004年度版更新年月日:2006年4月12日

審査登録機関:LRQA

枚方製造所

3.環境保全中期計画 目標及び実績

課題	取り込み項目	管理指標	基準年度	目標 2015年度 ※4	2013年度	
					実績 ※4	自己評価 ※5
地球温暖化の防止	CO2の削減	CO2排出原単位※2	2008	▲ 14%	▲ 32.7%	◎
	省エネルギー	エネルギー使用原単位	2008	▲ 14%	▲ 33.8%	◎
循環型社会の形成	廃棄物の削減	廃棄物排出原単位	2008	▲ 14%	▲ 41.3%	◎
		再資源化率※3	-	99.5%以上	99.9%	◎
	水資源の節約	水使用原単位	2008	▲ 21%	▲ 45.0%	◎
化学物質の管理	VOC※1の削減	VOC排出原単位	2008	▲ 21%	▲ 60.8%	◎

※1 VOC(揮発性有機化合物)は、排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。

※2 CO2排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は基準年度の値を使用します。

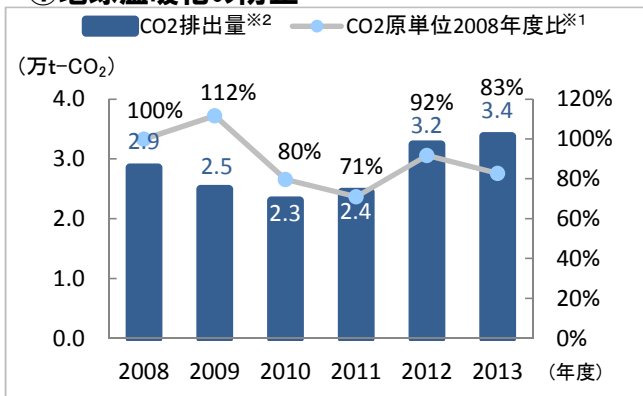
※3 再資源化率(%) = (有価物売却量+社外再資源化量) ÷ (有価物売却量+社外再資源化量+埋立量) × 100
社外再資源化量には熱回収量を含みます。

※4 ▲は「マイナス」を意味します。

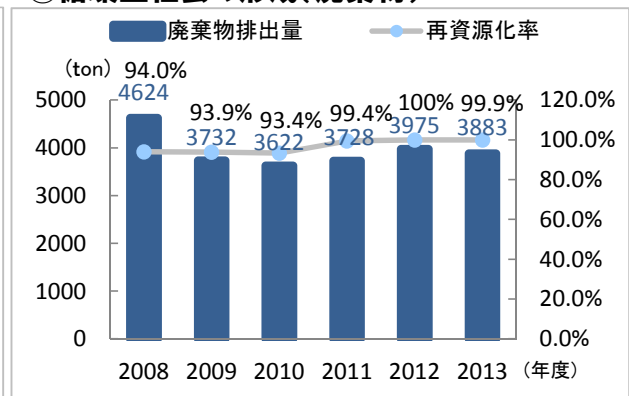
※5 自己評価の基準 ◎目標超過達成(目標を20%以上超過している場合) ○目標達成 △現状では未達成

4.環境パフォーマンス

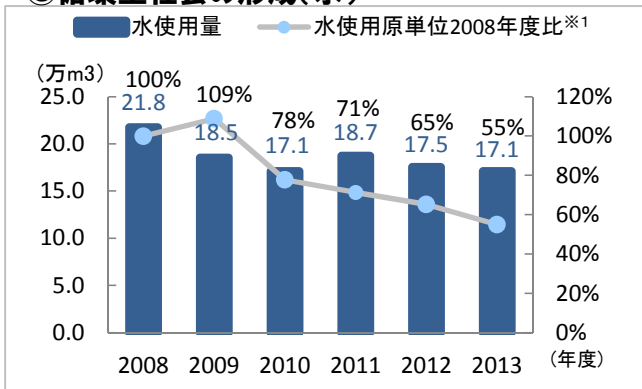
①地球温暖化の防止



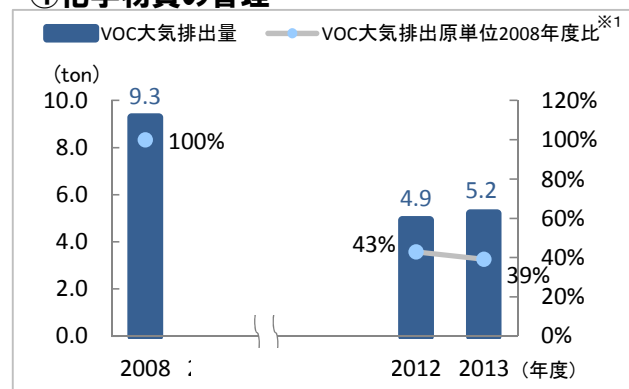
②循環型社会の形成(廃棄物)



③循環型社会の形成(水)



④化学物質の管理



※1 原単位2008年度比:2008年度の生産金額ベースの原単位を100とした場合の割合

※2 CO2排出量はエネルギー起源のCO2排出量です。エネルギー起源CO2の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

枚方製造所

4.環境パフォーマンス(つづき)

PRTR法対象物質の排出量・移動量の削減(2013年度)

単位：kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	1,327	0.0	0.0	0.0	0.0	17,377
80	キシレン	2,265	0.0	0.0	0.0	0.0	27,604
87	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,197
132	コバルト及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	179	0.0	0.0	0.0	0.0	2,375
300	トルエン	1,436	0.0	0.0	0.0	0.0	16,371
308	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
405	ほう素化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
412	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,263
453	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6.環境トピックス

廃プラスチック類(粉体塗料)の有価物化

- ・バルブ等の製品を粉体塗装したとき、製品に付着せず不要となった粉体塗料を産業廃棄物として処分していましたが、石油化学製品の原材料の一つとして利用できることが判明し、2013年度の途中から不要粉体塗料は全て有価物として売却し、産業廃棄物排出量の削減を行うことが出来ました。

廃プラスチック類(粉体塗料)の排出量：3,620kg(2012年度)→0kg(2014年度以降)

7.環境コミュニケーション

地域美化活動

2013年 6月 他1回	製造所周辺清掃活動	73人
2013年 8月 9日	「クールダウンひらかた打ち水大作戦」	5人
2013年 11月 2日	天の川大掃除	14人



製造所周辺清掃活動



打ち水大作戦

枚方製造所

8.サイトデータ

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 kL	16,677
水使用量	万m ³	17.1

OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	33,808
---------------------	-------------------	--------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		No.3焼鈍炉			機械吹付塗装脱臭装置			No.2吸収式冷暖房機		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SO _x	総量規制・K値規制ともm ³ N/h		※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	総量規制:m ³ N/h		総量規制	1.189	0.053	総量規制	1.305	0.072	総量規制	0.082	0.008
	濃度規制:ppm		濃度規制	180	50.0	濃度規制	230	25.0	濃度規制	150	30.0
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.1	0.005	濃度規制	0.05	測定なし

排水量	公共用水域 万m ³	29.0
	下水道 万m ³	-
汚濁負荷量	COD kg/年	736
	窒素 kg/年	734
	りん kg/年	82

※排水量には雨水が含まれています。

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8~8.6	6.8, 7.5
		BOD	mg/l	25	5.9
		COD	mg/l	25	10.6
		窒素	mg/l	120	11.0
		りん	mg/l	16	1.0
		六価クロム	mg/l	0.05	不検出
		鉛	mg/l	0.01	0.005
		COD総量規制	kg/日	37.95	2.02
		窒素総量規制	kg/日	38.30	2.01
		りん総量規制	kg/日	4.41	0.22
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/l			-	-
COD	mg/l			-	-
SS	mg/l			-	-

廃棄物排出量	t	3,889
再資源化率	%	99.9